9 海外直接投資の状況

(1) 海外直接投資実施企業の動向

有効回答企業（129社）のうち、現在、海外直接投資を実施している企業は36社であり、全体に占める割合は27.9%である。そのうち今後も継続する見込みの企業は31社、今後は実施する意向はない企業は5社となっている。

(2) 海外直接投資未実施企業の動向

有効回答企業（129社）のうち、現在、海外直接投資を実施していない企業は93社であり、全体に占める割合は72.1%である。そのうち今後実施する計画がある企業は1社、将来、実施を検討している企業は5社、今後も実施する意向のない企業が87社となっている。

海外直接投資の実績と計画

(単位：社)

業種	現在海外直接投資を実施		現在海外直接投資を実施していない		
	今後も継続する見込み	今後は実施する意向はない	今後実施する計画がある	将来実施を検討している	今後も実施する意向はない
食料品製造業	31	4	1	5	79
外食産業	0	1	0	0	8
合計	31	5	1	5	87

[付表8-1 (p34) 参照]

(3) 海外直接投資の主たる目的

有効回答企業（42社）の海外直接投資の主たる目的をみると、海外向け生産拠点が17社（40.5%）、国内向け生産拠点が14社（33.3%）販売拠点が5社（11.9%）、原料・半製品の供給拠点が3社（7.1%）である。

海外直接投資の主たる目的

(単位：社・%)

業種	海外直接投資の主たる目的						
	国内向け 生産拠点	海外向け 生産拠点	原料・半製 品の供給拠 点	販売拠点	財務拠点	その他	合計
食料品製造業	14 (34.1)	17 (41.5)	3 (7.3)	4 (9.8)	1 (2.4)	2 (4.9)	41
外食産業	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1
合計	14 (33.3)	17 (40.5)	3 (7.1)	5 (11.9)	1 (2.4)	2 (4.8)	42

(注) ()内の数値は、各業種ごとに当該回答のあった企業の割合を示したものの。

[付表8-2 (p34)参照]

(4) 海外直接投資の対象地域

有効回答企業（40社）のうち、海外直接投資の対象地域は、東アジアが19社（47.5%）で最も多く、次いでアセアン11社（27.5%）、北米6社（15.0%）、中南米2社（5.0%）、西アジア1社（2.5%）、EU諸国1社（2.5%）となっている。

海外直接投資の対象地域

(単位：社・%)

業種	海外直接投資の対象地域								
	北米	中南米	東アジア	アセアン	西アジア	オセアニア	EU諸国	その他	合計
食料品製造業	6 (15.4)	2 (5.1)	18 (46.2)	11 (28.2)	1 (2.6)	0 (0.0)	1 (2.6)	0 (0.0)	39 (100.0)
外食産業	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
合計	6 (15.0)	2 (5.0)	19 (47.5)	11 (27.5)	1 (2.5)	0 (0.0)	1 (2.5)	0 (0.0)	40 (100.0)

(注) 1 ()内の数値は、各業種ごとに当該回答のあった企業の割合を示したものの。

2 東アジアは中国、韓国及び台湾を、アセアンはシンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー及びブルネイをいう。

[付表8-3 (p35)参照]